

愛して、よかった。

さよならの朝に
約束の花をかざろう



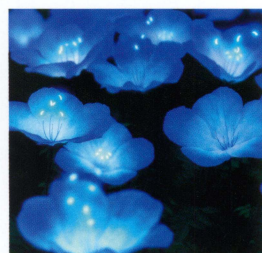
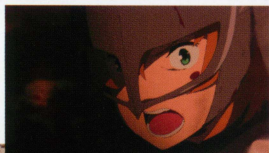
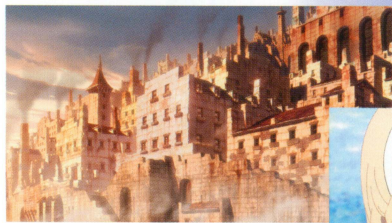
『あの花』『ここさけ』の岡田麿里が贈る
一大感動巨編!

愛して、よかった。

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』
『心が叫びたがってるんだ。』脚本の岡田麿里。

彼女が「作りたい作品がある」とついに初監督に挑んだ作品——
それが「さよならの朝に約束の花をかざろう」だ。
あらゆる世代の人生を映し出す
“出会い”と“別れ”を描いた珠玉の物語が、ここに誕生する。

岡田監督を支えるスタッフには業界の実力派が結集した。制作は「True tears」「花咲くいろは」などで岡田とタッグを組んできたP.A.WORKS。キャラクター原案は岡田監督たつての希望で巨匠イラストデザイナー吉田明彦が担当。監督の片腕として作品を支える副監督を「風のあすから」監督の篠原俊哉、キャラクターデザイン・総作画監督を同じく「風のあすから」の石井百合子が務める。音楽は「GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊」などの川井憲次。流れ行く時間。その中で出会った少女と少年。ふたりの生きた、永遠の「瞬」は見る人の人生を問い、大きな感動をもたらす。



STORY

縦糸は流れ行く月日。横糸は人のなりわい。

人里離れた土地に住み、ヒビオルと呼ばれる布に日々の出来事を織り込みながら静かに暮らすイオルフの民。

10代半ばで外見の成長が止まり数百年の寿命を持つ彼らは、“別れの一族”と呼ばれ、生ける伝説とされていた。

両親のいないイオルフの少女マキアは、仲間に囲まれた穏やかな日々を過ごしながらも、どこかで“ひとりぼっち”を感じていた。

そんな彼らの日々は、一瞬で崩れ去る。イオルフの長寿の血を求め、レナトと呼ばれる古の獣に跨りメザータ軍が攻め込んできたのだ。絶望と混乱の中、イオルフ一番の美女レイリアはメザータに連れさらされ、マキアが密かに想いを寄せる少年クリムは行方不明に。マキアはなんとか逃げ出したが、仲間も帰る場所も失ってしまう……。

虚ろな心で暗い森をさまようマキア。そこで呼び寄せられるように出会ったのは、親を亡くしたばかりの“ひとりぼっち”の赤ん坊だった。

少年へと成長していくエリアル。時が経っても少女のままのマキア。同じ季節に、異なる時の流れ。変化する時代の中で、色合いを変えていく二人の絆——。

ひとりぼっちがひとりぼっちと出会い紡ぎ出される、かけがえのない時間の物語。

CAST

マキア / 石見舞葉香 エリアル / 入野自由 レイリア / 茅野愛衣 クリム / 梶 裕貴
ラシーヌ / 沢城みゆき ラング / 細谷佳正 ミド / 佐藤利奈 デイタ / 日笠陽子 メドメル / 久野美咲 イゾル / 杉田智和 パロウ / 平田広明

STAFF

【監督・脚本】岡田麿里 【心が叫びたがってるんだ】脚本、「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」脚本、「花咲くいろは」脚本

【副監督】篠原俊哉 【キャラクター原案】吉田明彦 【キャラクターデザイン・総作画監督】石井百合子 【メインアニメーター】井上俊之 【コア・ディレクター】平松禎史

【美術監督】東地和生 【美術設定・コンセプトデザイン】岡田有章 【音楽】川井憲次 【音響監督】若林和弘

【アニメーション制作】P.A.WORKS 【製作】バンダイビジュアル / 博報堂DYミュージック&ピクチャーズ / ランティス / P.A.WORKS / Cygames 【配給】ショウゲート

公式Twitter @sayoasa_jp

sayoasa.jp

2018.2.24 ROADSHOW